

# 2015年度 第2四半期 決算説明会

2015年11月13日

株式会社 電通

**dentsu**

# 2015年度 第2四半期 連結決算概況

取締役 副社長執行役員

中本 祥一

\*本資料に含まれる数値、指標は、事業の実態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、財務諸表の数値とは異なる場合があることにご留意ください。用語の定義については、Appendicesをご参照ください。

2015年 11月13日

# 1. ハイライト

- **売上総利益は 対前年同期+14.4%**
- **オーガニック成長率は 同+6.9% (国内 +1.6% / 海外 +11.8%)**
- **調整後営業利益は 同+14.6%**
- **オペレーティング・マージンは、同+10bpsの 16.1%**
- **基本的調整後1株当たり当期利益は 同+23.3%**
- **200億円の自己株式を取得**

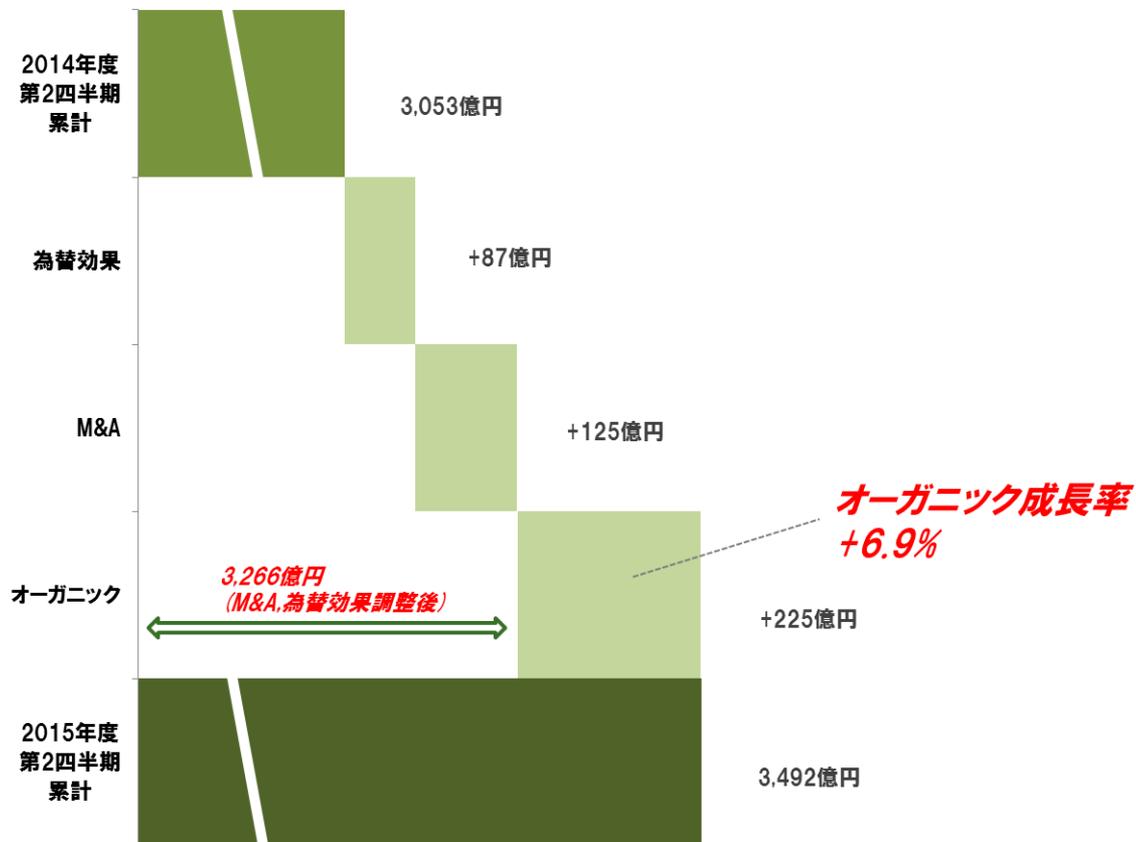
## 2. 第2四半期 連結決算ハイライト

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期比 (%)
売上高	2,351,646	2,137,965	+10.0
収益	373,947	329,272	+13.6
売上総利益	349,207	305,319	+14.4
営業利益	43,829	39,201	+11.8
当期利益	26,054	21,038	+23.8
調整後営業利益	56,110	48,951	+14.6
オペレーティング・マージン	16.1%	16.0%	+0.1
調整後当期利益	36,831	30,065	+22.5
基本的調整後1株当たり当期利益	128.6円	104.3円	+23.3
EBITDA	65,372	58,018	+12.7
為替			
円/USD (1-6月平均)	120.2円	102.5円	+17.3
円/GBP (1-6月平均)	183.3円	171.0円	+7.2

\*当期利益・調整後当期利益・基本的調整後1株当たり当期利益：親会社所有者帰属分

### 3. 売上総利益成長

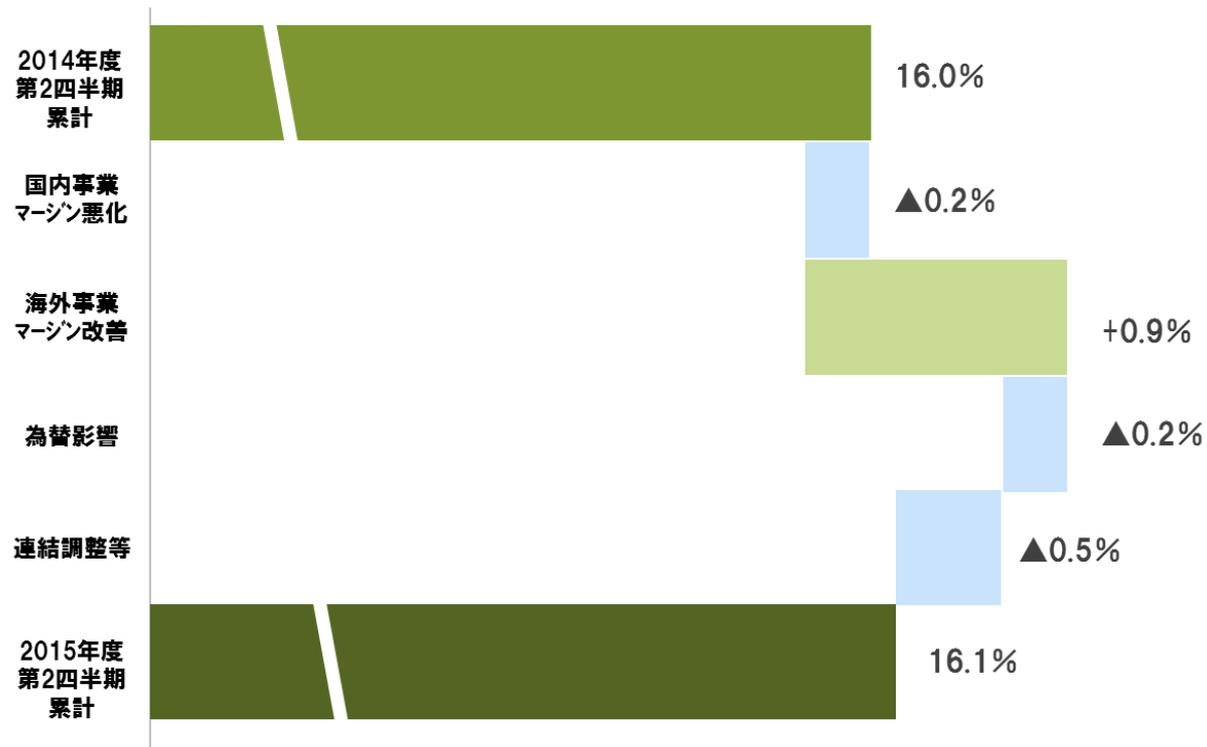


## 4. 地域別の状況

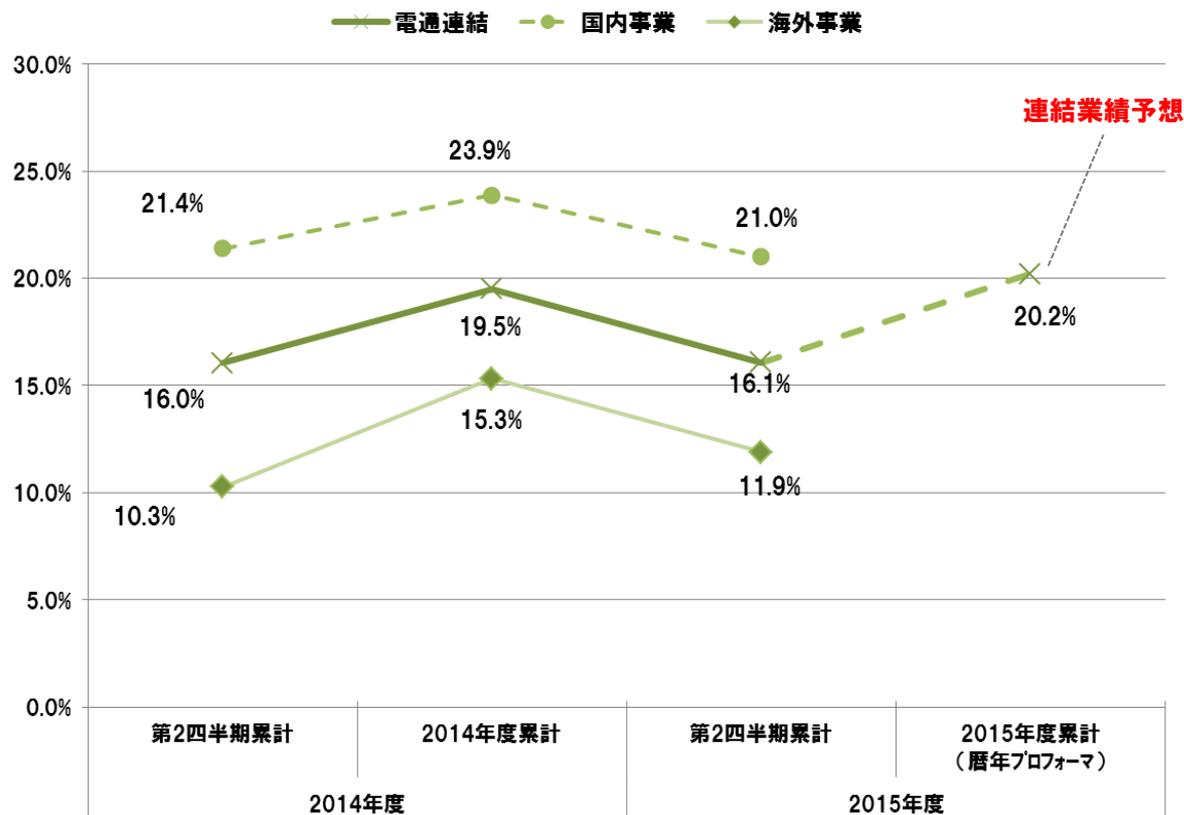
(百万円)

2015年度 第2四半期 累計	売上 総利益	前年 同期比 (%)	調整後 営業利益	前年 同期比 (%)	オーガニック 成長率 (%)
国内事業 <i>オペレーティング・マージン</i>	161,330	+1.9	33,897 <i>21.0%</i>	+0.2 <i>(0.4)</i>	+1.6
EMEA (欧州・中東・アフリカ)	69,329	+14.0	-	-	+13.8
Americas (米州)	67,667	+43.6	-	-	+9.1
APAC (アジア太平洋)	51,110	+30.3	-	-	+12.8
海外事業計 <i>オペレーティング・マージン</i>	188,106	+27.8	22,345 <i>11.9%</i>	+47.7 <i>+1.6</i>	+11.8
連結調整	▲ 229	-	▲ 132	-	-
電通グループ連結計 <i>オペレーティング・マージン</i>	349,207	+14.4	56,110 <i>16.1%</i>	+14.6 <i>+0.1</i>	+6.9

## 5. オペレーティング・マージンの変動要因



## 6. オペレーティング・マージン推移



# 7. 営業利益調整項目

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期差	前年同期比 (%)
調整後営業利益	56,110	48,951	+7,158	+14.6
調整項目	▲12,280	▲9,750	▲2,529	
買収に伴う無形資産の償却費	▲11,066	▲9,075	▲1,990	
M&A関連コスト	▲711	▲281	▲429	
固定資産除売却損益	+585	▲360	+945	
関係会社株式売却益	+954	+306	+648	
関係会社清算損	▲2,617	-	▲2,617	
その他	+575	▲340	+915	
営業利益	43,829	39,201	+4,628	+11.8

## 8. 営業利益以下の損益項目

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期差	前年同期比 (%)
営業利益	43,829	39,201	+ 4,628	+11.8
持分法による投資利益	2,235	4,900	▲ 2,665	(54.4)
金融損益及び税金控除前利益	46,065	44,101	+ 1,963	+4.5
金融損益	▲ 4,564	▲ 6,362	+ 1,798	-
金融収益	3,395	2,642	+ 752	+28.5
金融費用	7,959	9,004	▲ 1,045	(11.6)
税引前利益	41,500	37,739	+ 3,761	+10.0
法人所得税費用	12,995	14,173	▲ 1,178	(8.3)
当期利益	28,505	23,566	+ 4,939	+21.0
親会社の所有者に帰属する当期利益	26,054	21,038	+ 5,015	+23.8
非支配持分に帰属する当期利益	2,451	2,527	▲ 76	(3.0)

## 9. 財政状態計算書

(百万円)

	2015年 9月末	2015年 3月末	前期末差	前期末比 (%)
流動資産	1,503,287	1,681,861	▲ 178,573	(10.6)
非流動資産	1,501,971	1,477,673	+ 24,297	+1.6
資産 (合計)	3,005,259	3,159,534	▲ 154,275	(4.9)
流動負債	1,408,750	1,511,256	▲ 102,505	(6.8)
非流動負債	478,806	537,214	▲ 58,407	(10.9)
負債 (合計)	1,887,557	2,048,470	▲ 160,913	(7.9)
親会社の所有者に帰属する持分	1,087,615	1,080,364	+ 7,251	+0.7
非支配持分	30,086	30,699	▲ 613	(2.0)
資本 (合計)	1,117,701	1,111,063	+ 6,638	+0.6
負債及び資本 (合計)	3,005,259	3,159,534	▲ 154,275	(4.9)
円/USD	122.5円	120.6円	-	+1.6
円/GBP	192.7円	187.0円	-	+3.0

\*為替換算レート: 2015年9月末時点B/S: 2015年6月30日付、2015年3月末時点B/S: 2014年12月31日付

## 10. 負債について

(百万円)

	2015年 9月末	2015年 3月末	前期末差	2014年 9月末	前年同期差
有利子負債	372,160	409,618	▲ 37,458	348,395	+ 23,764
現金及び現金同等物	253,632	365,379	▲ 111,747	231,899	+ 21,733
純有利子負債	118,527	44,238	+ 74,288	116,496	+ 2,031
有利子負債 (期中平均)	379,612	367,484	+ 12,127	-	-
現金及び現金同等物 (期中平均)	265,434	247,886	+ 17,548	-	-
純有利子負債 (期中平均)	114,177	119,598	▲ 5,421	-	-
EBITDA (LTM)	181,874	174,520	+ 7,354	-	-
純有利子負債 / EBITDA (LTM)	0.65	0.25		-	
純有利子負債 (期中平均) / EBITDA (LTM)	0.63	0.69		-	

\*期中平均: 直近四半期末から過去12ヶ月平均

\*LTM: Last twelve months (直近四半期末から過去12ヶ月分)

# 11. キャッシュフローの創出

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期差	前年同期比 (%)
税引前利益	41,500	37,739	+ 3,761	+10.0
持分法による投資損益(益)	▲ 2,235	▲ 4,900	+ 2,665	(54.4)
減価償却費及び償却費	21,498	18,817	+ 2,680	+14.2
その他	3,699	9,379	▲ 5,679	(60.6)
法人所得税の支払額	▲ 28,044	▲ 30,681	+ 2,636	(8.6)
(合計) 運転資本変動前キャッシュの創出額 ①	36,418	30,355	+ 6,064	+20.0

## 12. キャッシュフローの配分

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期差	前年同期比 (%)
運転資本変動(増)減額 ②	▲ 22,776	756	▲ 23,533	-
純固定資産取得による収支	▲ 8,279	▲ 9,358	+ 1,078	(11.5)
純投資活動による収支	▲ 38,202	▲ 17,919	▲ 20,282	+113.2
配当金の支払額	▲ 10,092	▲ 4,902	▲ 5,190	+105.9
非支配持分株主への配当金の支払額	▲ 2,111	▲ 2,066	▲ 44	+2.2
自己株式の取得による支出	▲ 20,015	▲ 9	▲ 20,006	-
(合計) キャッシュの使用額 ③	▲ 78,701	▲ 34,255	▲ 44,445	+129.7
換算差額等 ④	▲ 9,229	▲ 1,740	▲ 7,489	-
ネットキャッシュの増減額 ①(前頁)+②+③+④	▲ 74,288	▲ 4,884	▲ 69,404	-
(買収関連収支)				
初期投資額	▲ 13,206	▲ 6,427	▲ 6,778	+105.5
アーンアウト支払額・追加取得支払額	▲ 16,500	▲ 9,651	▲ 6,848	+71.0
売却額	1,342	906	+ 436	+48.1

\*純固定資産取得による収支、純投資活動による収支は、売却による収支分を相殺

\*換算差額等：有利子負債から生じる換算差額を含む

# 13. 株主還元( 配当・自己株式取得 )について

	2015年 暦年プロ FORMA 見通し	2015年12月期 見通し	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績
1株当たり年間配当金 (うち、1株当たり中間配当金)	70.00円 (35.00円)	70.00円 (35.00円)	55.00円 (20.00円)	33.00円 (16.00円)
配当性向	26.1%	31.4%	19.9%	13.7%
自己株式取得	200億円			
総還元性向	52.3%			

\*2015年暦年プロ FORMA: 国内事業・海外事業ともに、2015年1-12月を決算期として計算したもの

\*配当性向・総還元性向: 当期利益(親会社所有者帰属分)ベース

## 14. 海外事業 1月～9月売上総利益成長(未監査)

	オーガニック成長率 (%) (1月～9月実績)	オーガニック成長率 (%) (7月～9月実績)
EMEA (欧州・中東・アフリカ)	+12.9	+11.0
Americas (米州)	+6.0	+0.1
APAC (アジア太平洋)	+11.5	+9.3
<b>海外事業計</b>	<b>+10.0</b>	<b>+6.6</b>

**dentsu**

# 2015年度上半期の総括と今後の経営方針

**代表取締役 社長執行役員**

**石井 直**

このプレゼンテーション資料には、2015年11月13日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

2015年11月

# Dentsu 2017 and Beyond

## マーケティング・コンバージェンスをリードする 真のグローバルネットワークへの進化

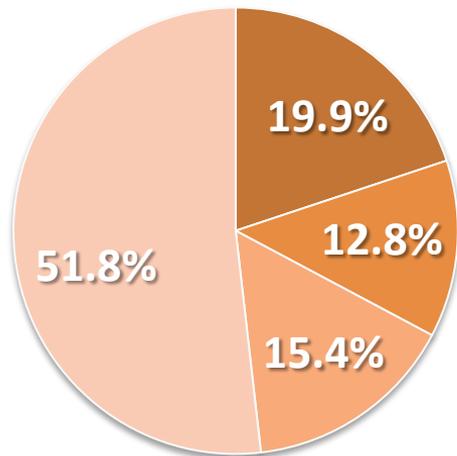
- Innovation x Reinvention -

- 1 グローバルでのポートフォリオ多極化
- 2 デジタル領域の進化と拡大
- 3 ビジネスプロセスの革新と収益性の拡大
- 4 コア・コンピタンスである日本市場での更なる事業基盤強化

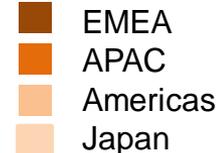
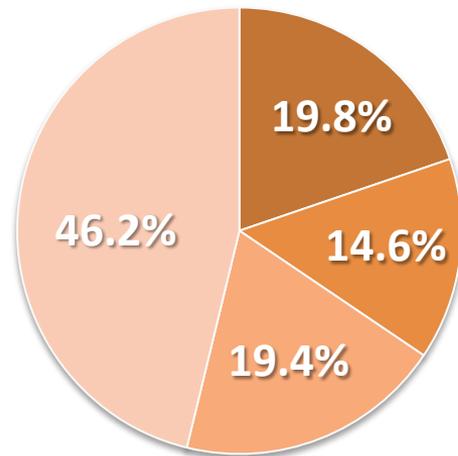
# 1 グローバルでのポートフォリオ多極化

地域別構成比（売上総利益ベース）

2014年度 上半期



2015年度 上半期



売上総利益 海外事業構成比

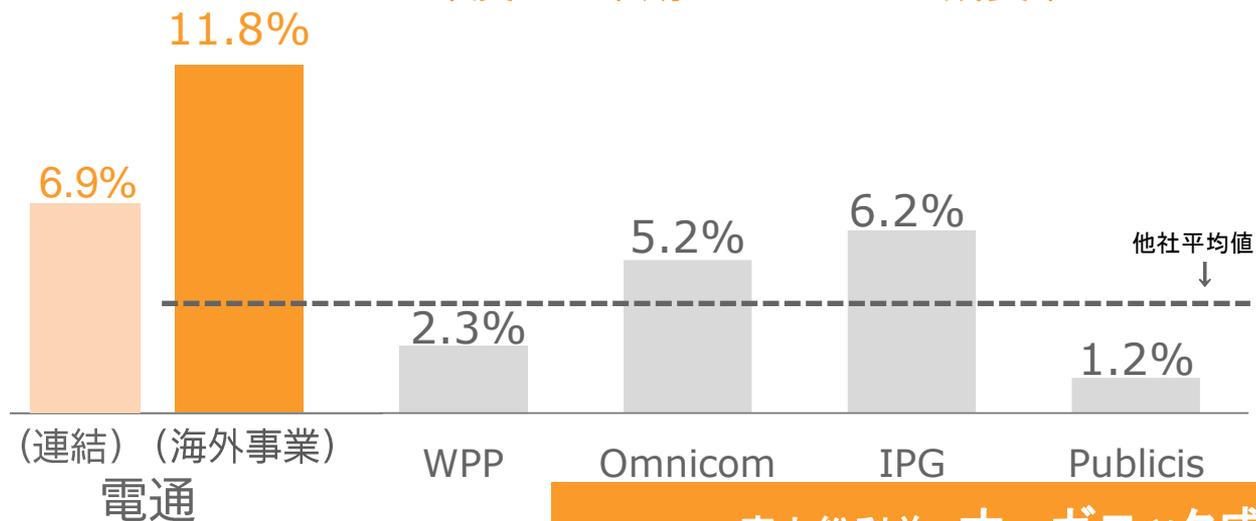
48.2% ▶ 53.8% ▶ 55% 以上

2014年度 上半期      2015年度 上半期      2017年度

# 1 グローバルでのポートフォリオ多極化

- 競合他社を大きく上回る海外事業のオーガニック成長を継続

2015年度 上半期オーガニック成長率



売上総利益 オーガニック成長  
(海外事業)

9.0%

2014年度 上半期



11.8%

2015年度 上半期

# 1 グローバルでのポートフォリオ多極化: APAC(除く日本)

- 前年度に続き、高いオーガニック成長を継続
- マクロ経済に減速感がある中国でも  
1-9月累計では、2ケタ成長を達成
- オーストラリア、インド、タイ、マレーシアといった  
主要市場においても 2ケタ成長を継続

APAC オーガニック成長

15.1%

2014年度 上半期



12.8%

2015年度 上半期

## 1 グローバルでのポートフォリオ多極化: EMEA

- シェア奪取を軸に、前年同期を上回る2ケタ成長を達成
- 西欧の主要市場における強いオーガニック成長
- 東欧諸国の地政学的リスクは引き続き注視

### EMEA オーガニック成長

8.6%

2014年度 上半期



13.8%

2015年度 上半期

# 1 グローバルでのポートフォリオ多極化: Americas

- 北米においても引き続き市場をアウトパフォーム
  - 昨年獲得した大型案件の貢献
  - Isobar、iProspect、360i等のデジタル・ネットワークが成長を牽引
  - 買収によるケーパビリティの拡充・統合が成長に貢献
- ブラジルは不安定なマクロ要因が残るものの  
その他のラテン・アメリカ主要国は強いパフォーマンス

Americas オーガニック成長

4.9%

2014年度 上半期



9.1%

2015年度 上半期

# 広告市場の見通し～デジタル化の進展

	2015	2016
<b>Global (59 countries)</b>	<b>4.0%</b>	<b>4.7%</b>
<b>Japan</b>	<b>1.4%</b>	<b>1.6%</b>
<b>EMEA</b>	<b>1.7%</b>	<b>3.1%</b>
<b>Americas</b>	<b>5.0%</b>	<b>5.4%</b>
<b>APAC Excluding Japan</b>	<b>5.2%</b>	<b>5.9%</b>
<b>Digital</b>	<b>15.7%</b>	<b>14.3%</b>

	2014	2015	2016
<b>世界の広告費に占める デジタル構成比</b>	<b>21.8%</b>	<b>24.3%</b>	<b>26.5%</b>

\*出典: Carat "Global Advertising Expenditure Trends Sep 2015 Report" (予測値は暦年ベース)

デジタル・エコノミーの進展による環境変化は、ますます加速

## 2 デジタル領域の進化と拡大

- デジタル・メディア領域、デジタル・ソリューション領域ともに、ケーパビリティの進化と拡大に注力
- 上期のデジタル売上総利益は、国内事業+18.2%、海外事業+25.0%と2ケタ成長を継続
- 上期の海外事業のデジタル領域構成比は、46%に増加

### 売上総利益 デジタル領域構成比



## 2 デジタル領域の進化と拡大

- 引き続きM&Aにより、デジタル・ケーパビリティを拡充

### 【2015年度 デジタル領域 M&Aリスト】

Oct.	Brazil	Pontomobi	Mobile marketing	Isobar
Jul.	Brazil	Redirect	Digital marketing	iProspect
Jun.	UK	eCommera	E-Commerce	Isobar
Jun.	Thailand	Flexmedia	Digital search	iProspect
Jun.	Poland	Marketing Wizards	Digital performance	iProspect
May	UK	John Brown Media	Content marketing	iProspect
Apr.	Israel	abaGada	Performance marketing	iProspect
Mar.	Greece	Mindworks	Digital marketing	iProspect
Mar.	Vietnam	Emerald	Full-service digital marketing	Isobar
Feb.	Singapore	The Upper Storey	Digital creative	Isobar
Jan.	Australia	Soap creative	Full-service digital creative	Isobar
Jan.	India	WATConsult	Social and digital media	Isobar

### 3 ビジネスプロセスの革新と収益性向上

- 2015年上期のオペレーティング・マージンは、
  - 国内事業： 一時的な要因により、40bps低下
  - 海外事業： プラットフォーム投資の減少と、費用の増加抑制が功を奏し、160bps改善
- 業界最高水準のマージンの維持・改善に注力

調整後営業利益 オペレーティング・マージン

16.0% ▶ 16.1% ▶ 20% 以上

2014年度  
上半期

2015年度  
上半期

2017年度

(通期予想: 20.2%)

## 4 コア・コンピタンスである日本市場での更なる事業基盤強化

- 過去最高水準であった前年同期をさらに上回る売上総利益を達成
- プロモーション系、デジタル系子会社の好調な業績
- クライアントのデジタルシフトに対応したソリューションの高度化・体制強化を継続
- 需要と関心が高まるコンテンツ・プロデュース事業への取り組みも強化

国内事業 オーガニック成長

1.6%

2015年度上半期

# Dentsu 2017 and Beyond

## マーケティング・コンバージェンスをリードする 真のグローバルネットワークへの進化

- Innovation x Reinvention -

- 1 グローバルでのポートフォリオ多極化
- 2 デジタル領域の進化と拡大
- 3 ビジネスプロセスの革新と収益性の拡大
- 4 コア・コンピタンスである日本市場での更なる事業基盤強化

# Appendices

# 1. 用語の定義

- **売上高:** 顧客に対して行った請求額および顧客に対する請求可能額の総額(割引および消費税等の関連する税金を除く)
- **調整後営業利益:** 営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、減損、固定資産の売却損益、M&Aに伴う費用などの一時的要因を排除した恒常的な事業の業績を測る利益指標
- **オペレーティング・マージン:** 調整後営業利益 ÷ 売上総利益
- **調整後当期利益(親会社所有者帰属分):** 当期利益(親会社所有者帰属分)から、営業利益に係る調整項目、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標
- **基本的調整後1株当たり当期利益:** 調整後当期利益(親会社所有者帰属分)ベースで計算したEPS
- **EBITDA:** 営業利益 + 減価償却費 + 償却費 + 減損損失
- **為替変動による影響:** 前年実績と前年実績を直近決算為替レートで洗い替えたものとの差額
- **M&Aによる成長:** 前年同期初から直近決算期末までに実施したM&Aによる影響額(為替変動による影響を調整後。M&A先のオーガニック成長分は控除)
- **オーガニック成長:** 為替やM&Aの影響を除いた内部成長率。前年同期初から直近決算期末までに実施したM&Aについては、当期に連結された月数分は前年同期にも連結されていたと仮定して、M&A先も含めてオーガニック成長を計算

## 2. 連結決算の四半期情報

(百万円)

	2015年度 第2四半期	前年 同期比 (%)	第1四半期	前年 同期比 (%)
売上高	1,215,032	+8.9	1,136,613	+11.2
収益	201,920	+12.5	172,027	+14.9
売上総利益	188,095	+13.5	161,111	+15.4
営業利益	31,575	+7.9	12,254	+23.4
当期利益	19,216	+12.2	6,838	+74.8
調整後営業利益	36,828	+5.4	19,282	+37.5
オペレーティング・マージン	19.6%	(1.5)	12.0%	+2.0
調整後当期利益	23,178	+13.7	13,653	+41.0
EBITDA	42,541	+9.6	22,831	+18.9

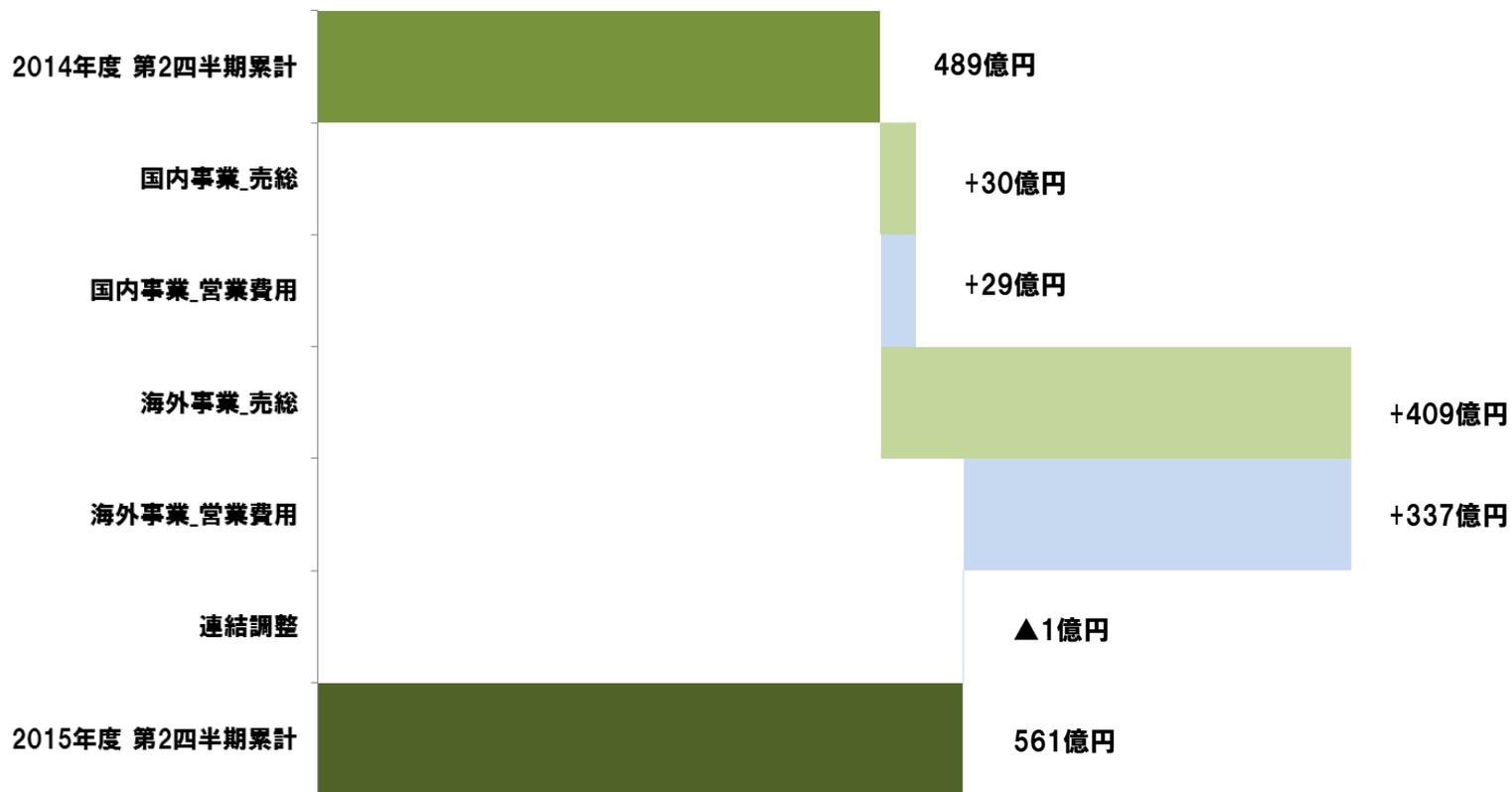
\*当期利益・調整後当期利益：親会社所有者帰属分

### 3. 四半期オーガニック成長

(%)

	2015年度 第3四半期	第2四半期	第1四半期
国内事業	-	+1.4	+1.9
EMEA (欧州・アフリカ・中東)	+11.0	+16.1	+11.1
Americas (米州)	+0.1	+7.9	+10.4
APAC (アジア太平洋)	+9.3	+5.4	+22.5
海外事業計	+6.6	+10.2	+13.7
電通グループ連結計	-	+5.9	+8.1

## 4. 調整後營業利益 貢献分析



## 5. 当期利益調整項目

(百万円)

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期差	前年同期比 (%)
調整後当期利益	36,831	30,065	+6,766	+22.5
調整項目	▲10,777	▲9,026	▲1,750	
営業利益調整項目	▲12,280	▲9,750	▲2,529	
関連会社に係る買収に伴う無形資産の償却費	-	▲167	+167	
アーンアウト債務・ 買収関連プットオプション再評価損益	▲3,223	▲5,037	+1,814	
私募債の早期償還損	▲906	-	▲906	
関連する税金影響	+5,138	+5,616	▲478	
非支配持分帰属分	+494	+312	+181	
当期利益	26,054	21,038	+5,015	+23.8

\*調整後当期利益・当期利益：親会社所有者帰属分

## 6. 有利子負債の状況 (期末残高内訳)

	(百万円)
	2015年 9月末
短期借入金	42,465
長期借入金 (*1)	329,694
社債 (*2)	-
有利子負債計	372,160
現金及び現金同等物	253,632
純有利子負債	118,527

\*1 流動負債に分類されているものを包含

\*2 早期償還により残高ゼロ

## 7. 単体業績の概況（日本基準）

（百万円）

	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期比 (%)
売上高	740,822	734,808	+0.8
売上総利益	105,121	107,413	(2.1)
売上総利益率	14.2%	14.6%	(0.4)
販売費及び一般管理費	82,928	84,186	(1.5)
営業利益	22,192	23,226	(4.5)
対売上総利益比率	21.1%	21.6%	(0.5)
経常利益	41,046	43,332	(5.3)
税引前当期純利益	45,361	43,316	+4.7
当期純利益	36,144	33,375	+8.3

## 8. 単体業績の四半期情報（日本基準）

（百万円）

	2015年度 第2四半期	前年 同期比 (%)	第1四半期	前年 同期比 (%)
売上高	375,832	(0.6)	364,989	+2.3
売上総利益	55,991	(2.1)	49,130	(2.2)
売上総利益率	14.9%	(0.2)	13.5%	(0.6)
販売費及び一般管理費	43,910	+0.3	39,018	(3.4)
営業利益	12,080	(9.7)	10,111	+2.6
対売上総利益比率	21.6%	(1.8)	20.6%	+1.0
経常利益	13,121	(19.8)	27,924	+3.5
税引前当期純利益	15,576	(3.0)	29,784	+9.3
当期純利益	10,972	+1.0	25,171	+11.8

## 9. 単体業務区分別売上高の状況（日本基準）

（百万円）

	2015年度 第2四半期	前年 同期比 (%)	第1四半期	前年 同期比 (%)
新聞	19,903	(17.1)	20,569	(10.0)
雑誌	7,842	(3.3)	6,949	(1.4)
ラジオ	3,516	+0.7	3,249	(4.2)
テレビ	162,810	(1.4)	171,329	(6.6)
テレビタイム	73,525	(3.4)	68,111	(13.5)
テレビスポット	89,285	+0.3	103,217	(1.4)
インタラクティブメディア	18,860	+8.4	19,818	+19.6
OOHメディア	13,998	+21.9	15,942	+21.3
クリエイティブ	49,537	(2.5)	46,355	+0.2
マーケティング／プロモーション	56,160	+16.7	42,111	+15.5
コンテンツサービス	32,647	(17.1)	28,136	+59.8
その他	10,554	+5.0	10,526	+4.3
合計	375,832	(0.6)	364,989	+2.3

# 10. 単体業種別売上高の状況（日本基準）

（百万円）

	2015年度 第2四半期	前年 同期比 (%)	第1四半期	前年 同期比 (%)
情報・通信	51,254	(28.9)	41,896	(13.0)
飲料・嗜好品	38,469	(1.1)	41,305	(5.1)
化粧品・トイレタリー	29,085	+0.8	31,740	+2.5
金融・保険	29,013	+3.7	31,550	+15.6
食品	27,092	+17.8	26,806	+1.3
自動車・関連品	24,750	+3.1	24,439	+1.6
流通・小売業	21,929	+5.6	23,706	+0.7
外食・各種サービス	23,042	+18.9	21,766	+14.0
薬品・医療用品	16,697	(3.0)	18,573	+0.1
交通・レジャー	16,162	+13.6	16,497	+9.5
官公庁・団体	16,602	+29.2	14,170	+52.0
趣味・スポーツ用品	16,684	+8.5	13,979	+1.0
不動産・住宅設備	11,900	(1.0)	11,496	+20.9
ファッション・アクセサリ	9,355	+8.8	10,359	+16.1
家電・AV機器	9,103	(21.1)	8,769	(17.9)
その他	34,690	+11.5	27,929	+0.0
合計	375,832	(0.6)	364,989	+2.3

# 11. 為替影響分析

	期中平均レート			期末日レート		
	2015年度 第2四半期 累計	2014年度 第2四半期 累計	前年同期比 (%)	2015年 9月末	2015年 3月末	前期末比 (%)
円/USD	120.2円	102.5円	+17.3	122.5円	120.6円	+1.6
円/EUR	134.2円	140.4円	(4.5)	137.2円	146.5円	(6.4)
円/GBP	183.3円	171.0円	+7.2	192.7円	187.0円	+3.0
円/中国元	19.3円	16.7円	+15.7	19.7円	19.4円	+2.0

## 売上総利益に占める主要通貨の割合

(%)	円	USD	EUR	GBP	中国元	その他	合計
2015年度 第2四半期累計	46.2	16.2	9.0	6.2	5.9	16.5	100.0

\*期末日レート: 2015年9月末: 2015年6月30日付、2015年3月末: 2014年12月31日付

# 本資料取扱い上の留意点

## 将来に関する記述について

本資料は、電通に関する「将来に関する記述」またはそれに該当しうるものを含んでおります。本資料に記載される過去の事実以外の記述は将来に関する記述であることがあります。「～を目標としている」、「～を計画している」、「～と考えている」、「～と予想される」、「～を目的としている」、「～する意向である」、「～するつもりである」、「～する可能性がある」、「～が期待される」、「～と見込まれる」、「～と予測する」、及びこれらに類似する意味の単語や言葉、又はそれらの否定文は、将来に関する記述です。将来に関する記述には、(i) 今後の資本支出、費用、収入、利益、シナジー効果、経済動向、負債、財務状況、配当政策、損失及び将来予測、(ii) 事業及び経営戦略、並びに (iii) 電通の事業に対する政府規制の影響に関する記述を含みます。

将来に関する記述は、期待されている結果に重大な影響を与えうるリスクや不確実性を伴い、一定の重要な前提に基づいています。多くの要因により、実際の結果は、将来に関する記述において想定又は示唆されていたものと著しく異なることがあります。かかる不確実性やリスクに鑑み、本資料を閲覧される方は、その記述が行われた日付け時点における予想でしかない将来に関する記述に過度に依存しないようご注意ください。

なお、現時点で想定される主なリスクとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)

- ① 景気変動によるリスク
- ② 技術革新およびメディアの構造変化によるリスク
- ③ 財務目標等の未達リスク
- ④ 取引慣行等に伴うリスク
- ⑤ 競合によるリスク
- ⑥ 情報システムへの依存に関するリスク
- ⑦ 法規制等に関するリスク
- ⑧ 訴訟等に関するリスク

電通は、適用法令により義務付けられる場合を除き、本資料に含まれる将来に関する記述又はその他の記述を更新する義務を負うものではありません。